

指揮者として

大好きな高梁市を守っていききたい

高梁市消防署(第2係担当)  
石田 泰宏 署長代理



責任者として全体の総括を

指揮者は交替制勤務である消防署職員の責任者として、全体の総括(消防隊・救急隊・救助隊や火災・事故現場での指揮活動など)を行っています。そのため、要救助者などを安全に救うとともに、被害を拡大させることなく、隊員の安全を確保することも私たちの役割です。

設備や車両も進歩しています。災害の変化に合わせて進化する救助方法にも、消防士として対応していかなければなりません。

誇りとやりがいを感じながら  
消防士としての長い勤務のなかで、悲惨な現場のために命を助けることができなかつたこともあり、市民の皆さんから「ありがとうございます」「頑張ってください」と感謝の言葉をかけてもらったときは、人の役に立っていると実感しています。

人の命や地域の安全を守る消防士としての責任から、常に緊張感やプレッシャーを感じていますが、それだけに誇りとやりがいがある仕事だと思います。多くの火災は皆さんが注意することで防ぐことができます。自分や家族が命を落としたり、大切な財産を失ったりすることがないように、日頃から家族や地域の皆さんで注意しましょう。

救急救命士として

困っている人を少しでも助けたい

高梁市消防署 第2係  
島田 賢司 消防士長



患者さんの安全を確保する

救急救命士は救急車に乗車し、搬送先の病院の選定や傷病者の観察、応急処置を行っています。そのため、隊員一人一人が連携し、お互いにあうんの呼吸でカバーし合うことが求められます。「救急救命士」は「救急隊員」と比べて行うことができる処置の範囲が広く、例えば、心肺停止状態の傷病者に対して、医師の指示を受けて気道確保を行うために口

からチューブを挿入したり、静脈路確保を実施したりすることができ、市民の皆さんに対して心肺蘇生法の方法などを伝えるための救命講習なども行っています。

不安を少しでも取り除く

市民の皆さんが救急車を呼ぶことは、一生に一度あるかどうかだと思えます。そのため、搬送される際には大きな不安を感じるかもしれません。私たちは傷病者の気持ちを落ち着かせることができるように、救急隊員や医療関係者と連携し、いっどんなことが起きても対応できるように訓練を行っています。

「救急車を呼ぶと近所迷惑」「わざわざ救急車を呼ぶのは気が引ける」と、119番をためらう方もいるかもしれませんが、生死を左右する場面では初期対応が大切です。本当に困ったときはいつでも救急車を呼んでください。

安全に救助作業ができるように

高梁市消防署 第2係  
田中 宏幸 主査



現場で活動できる隊員を育成

消防車でいち早く現場へ駆け付け、消火作業や救助活動を素早く行う姿に憧れを抱いたことが、消防士になったきっかけです。現在は救助隊長として、救助隊員や救急隊員と協力して要救助者を安全に救出するために、救助現場での活動方針を決めています。また、平常時には救助に関する訓練を計画し、後輩隊員の指導や育成を行っています。

安全に救出できるように

救助現場では、危険な場所での活動や体力的に厳しい環境での活動も多くあります。そのような環境下でも隊員にけがなどを負わすことなく、安全に活動することができるように、状況を把握して適切な救助方法を選択・実践しています。もちろん、要救助者を安全に救出することが大前提であり、そのために日々の訓練を行っています。救助活動を完了して救急隊に無事に引き継ぐことができたときは、私たちが安心することができます。

近年、高梁市では多くの自然災害が発生しています。豊かな自然に囲まれているため、これからもさまざまな災害の危険性があると思います。今までの経験から「ここは大丈夫だろう」と安易に判断するのではなく、普段と違う部分を感じたら、早めに行動するように心がけましょう。

消防士として

消防士として

高梁市消防署 第1係  
松本 幸真 消防士



先輩隊員の姿を見て

消防士を目指したきっかけは、子どものころに消防署へ見学に行った際に、そこで訓練している消防士の姿を見て、「自分も人の役に立てるような仕事をしたい」と思ったからです。消防士として3年目を迎えた現在は、救急業務や救助業務、消防業務、平常時は訓練や学習などを先輩隊員の指導を受けながら行っています。

信頼してもらえるように

火災の現場では、夜を徹して消火作業をしたり何本もホースを伸ばしたりと大変なこともありま。しかし、無事に消火することができたり、災害現場などで「ありがとう」と言ってもらったりすると、消防士になって良かったなと思います。

私がいつも心がけていることは、いっどどこで起こるか分からない災害や火災などさまざまな状況の現場がある中で、どのような場面でも落ち着いて対応できるように、日頃の準備をしておくことです。これからも日々の訓練に精進し、市民の安全を第一に考えることができる、責任感ある消防士になりたいと思います。

高梁市ではたき火が原因による火災が多く発生しています。風が強い日は特に気を付けるとともに、水バケツなど消火用具を準備するようにしましょう。

救助隊長として

消防士として